

か ご

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん けんしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが にほんの 「かごぎょぎょう」の けんしゅうを うけるときに やくだつように つくりました。

にほんごの きょうかしょ (テキスト) ですが みなさんが わかりやすいように 「かごぎょぎょう」について やさしく せつめいしてあります。

もし わからない ところが あれば けんしゅうしどういんや にほんじんの のりくみいんに しつもんして きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて ください。

もくじ

1. かご ぎよぎょう

- (1) かごぎよぎょうの とくちょう
- (2) かごぎよぐに ついて

2. かごぎよぎょうを おこなう すいいき、 ぎよかくぶつ

- (1) かごぎよぎょうの しゅるい

3. ぎよぎょうを ながく つづけるための きまり

4. かにかごぎよぎょう

- (1) ずわいがにの とくちょう
- (2) ベにずわいがにの とくちょう
- (3) かにの ねだん (うれる おかねが たかいか やすいか) について
- (4) ベにずわいがにかごりょうに ついて
- (5) そうぎょうほうほう (りょうの しかた)
- (6) ぶんぷ、 せいたいとう
- (7) ベにずわいがにかごりょうを するときの きまり
- (8) そのた

5. えびかごぎよぎょう

- (1) ぎよぐに ついて
- (2) そうぎょうほう
- (3) ほっこくあかえびの せいたいについて
- (4) とやまえびの せいたいに ついて
- (5) もろとげあかえびの せいたいに ついて
- (6) えびかごりょうを おこなう ときの きまり

6. そのた

- (1) ほんしゅうぜん (ず1 2)
- (2) わたりしゅうぜん (ず1 3)
- (3) そのたの しゅうぜん

1. かごぎょぎょう

えさを 入れた かごあみを かいていに しずめ、 ギョかくぶつを とる ギョぎょうです。

(1) かごぎょぎょうの とくちょう

◎にほんだけでなく、 せかいじゅうで おこなわれて います。

◎かごあみや ふねの そうびは、 ほかの ギョぎょうを おこなう ふねよりも、 おかねが かかりません。

◎ふかい うみ、 かわや みずうみでも そうぎょうが できます。

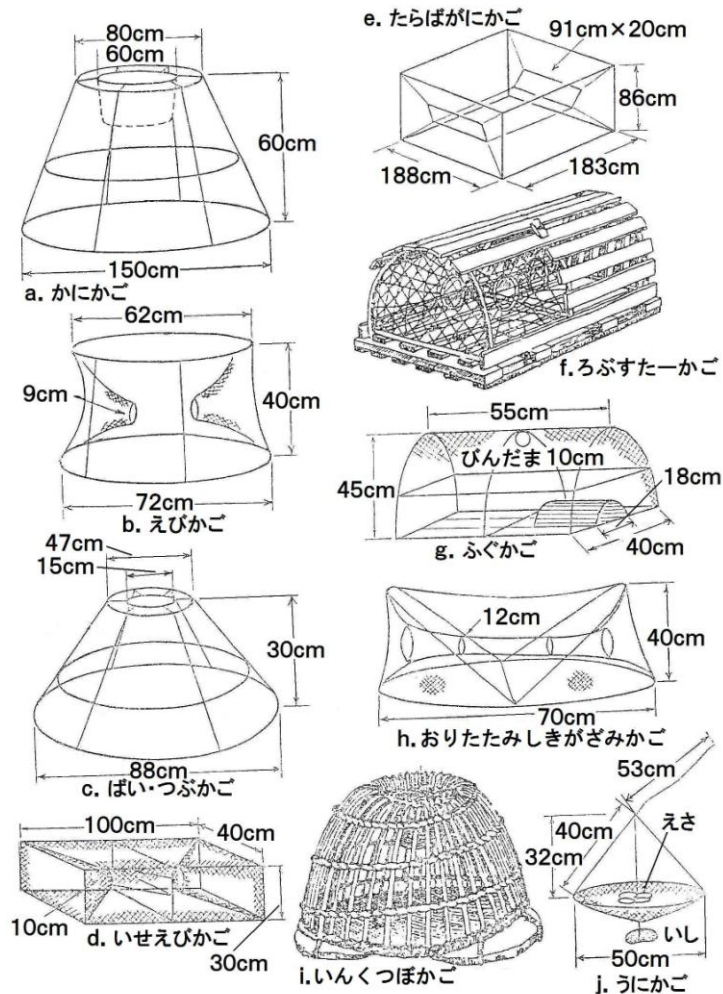
◎ギョかくぶつは いきたまま とれるため、 しんせんです。

◎ちいさい ギョかくぶつは うみに はなすことになっ ているので、 すいさんしげんの ほごに やくだちます。

(2) かごぎょぐに ついて

せかいでは いろいろな かたちの かごが つかわれています。(ず1)

にほんで おおく つかわれて いるのは、 かにかご(ず1 a)、 えびかご(ず1 b)、 ばい・つぶかご(ず1 c) などは。



ず1 いろいろな かご

2. かごぎよぎょうを おこなう すいいき、ぎよかくぶつ

かごぎよぎょうでは、かにるい、えびるい、ばい・つぶ、ふぐ、あなご、いかなどをとります。

とくに べにずわいがにと ほっこくあかえびを おおく とります。

(1) かごぎよぎょうの しゅるい

- ・かにかごぎよぎょう べにずわいがに、ずわいがに、けがに、がざみ、はなさきがになどの いろいろな かにを とります。
- ・えびかごぎよぎょう にほんかいなどで ほっこくあかえび（あまえび、なんばんえび）、とやまえび（ぼたんえび）、もろとげあかえび（しまえび）をとります。
- ・つぶかごぎよぎょう つぶをとります。
- ・そのほか いか、あなご、ふぐなどを とります。

3. ぎよぎょうを ながく つづけるための きまり

にほんでは かごぎよぎょうを おこなうための るーる（きまり）があります。

そうぎょうを おこなっては いけない ばしょや きせつ、かごの かず、とっては いけない おおきさなどがあります。

4. かにかごぎよぎょう

おもに にほんかいで おこなわれ、べにずわいがにや ずわいがになどを とります。

(1) ずわいがにの とくちょう

- ・ずわいがには、あかちやいろを しており、ふるくから にほんじんが たべていた かにです。
- ・おもに にほんかいの すいしん200～600mの ところに すんでいます。
- ・かごぎよぎょうよりも、そこびきあみぎよぎょうで おおく とっています。

(2) べにずわいがにの とくちょう

- ・べにずわいがにの からだの いろは あかいろです。
- ・にほんかいにも たいへいようにも すんでいます。
- ・かかくは ずわいがにより やすいですが、あじは ずわいがにと あまり かわりません。

(3) かにの ねだん（うる おかねが たかいか やすいか）について

- ・かにの ねだんは、からの なかに にくが おおく はいっているか、すくなく はいっているかで きまります。
- ・すんでいる ばしょや ふかさ、きせつの ちがいにより、にくの はいりかたがちがいます。
- ・からだの なかの にくが すくないかにを 「みずがに」と よびます。

ずわいがに



べにずわいがに



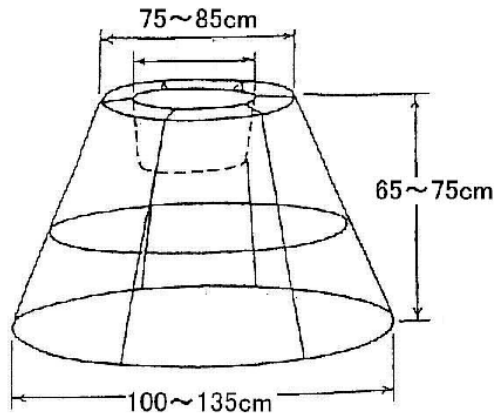
ず2 ずわいがにと べにずわいがに

(4) べにずわいがにかごりょうについて

- ・おもに そうぎょうが おこなわれる すいしんは 800～1,800mです。
 - ・にほんでは、すいしん800mより あさい ところでは、そうぎょうが きんし されています。
 - ・かごの あみめは 15cmいじょうで なければ いけません。
 - ・ぼんでん (はたなどで、かごを 入れた ぼしよを しめすもの) と ぼんでんの あいだに、かごつきの えだなわを とりつけたものを 「1れん」と いいます。
 - ・かごを つけた えだなわは 40～70mごとに みきなわに とりつけます。
 - ・1れんに とりつける かごは 150こいないと なっているばあいが おおく、ふつうは 3れん つかいます。
 - ・めすがにと こうはば (こうらのはば・よこのながさ) 9cmみまんの おすがには とっては いけません。
- そのような かにが とれたときは、うみに もどさなければ なりません。

べにずわいがにかごあみは ず3の とおりです。

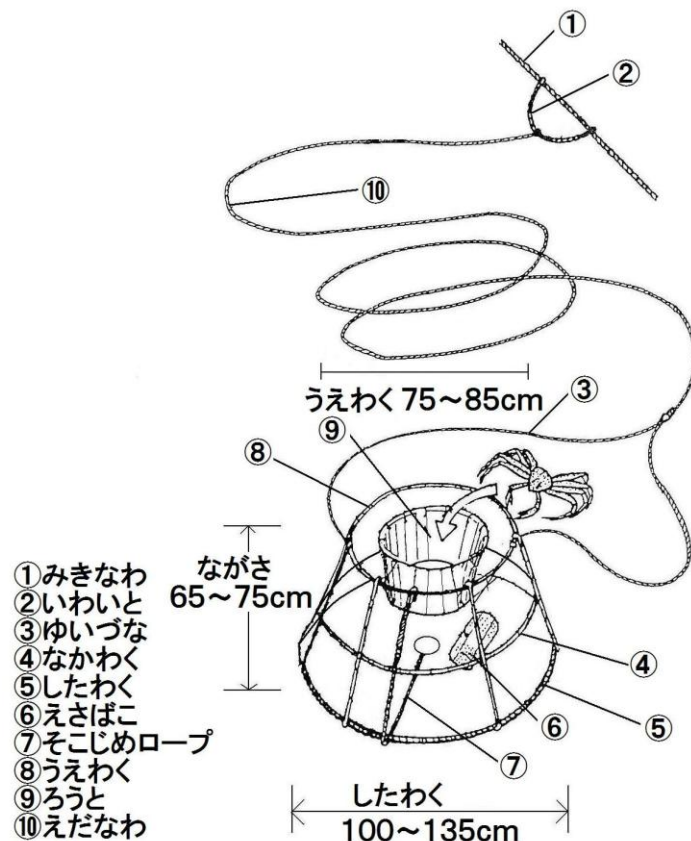
かごは、うえわくより したわくの ほうが おおきく なっています。



ず3 べにずわいがにかごあみ

かごの みきなわへの とりつけかんかく (えだなわと えだなわとの あいだの ながさ) は 40~70mです。

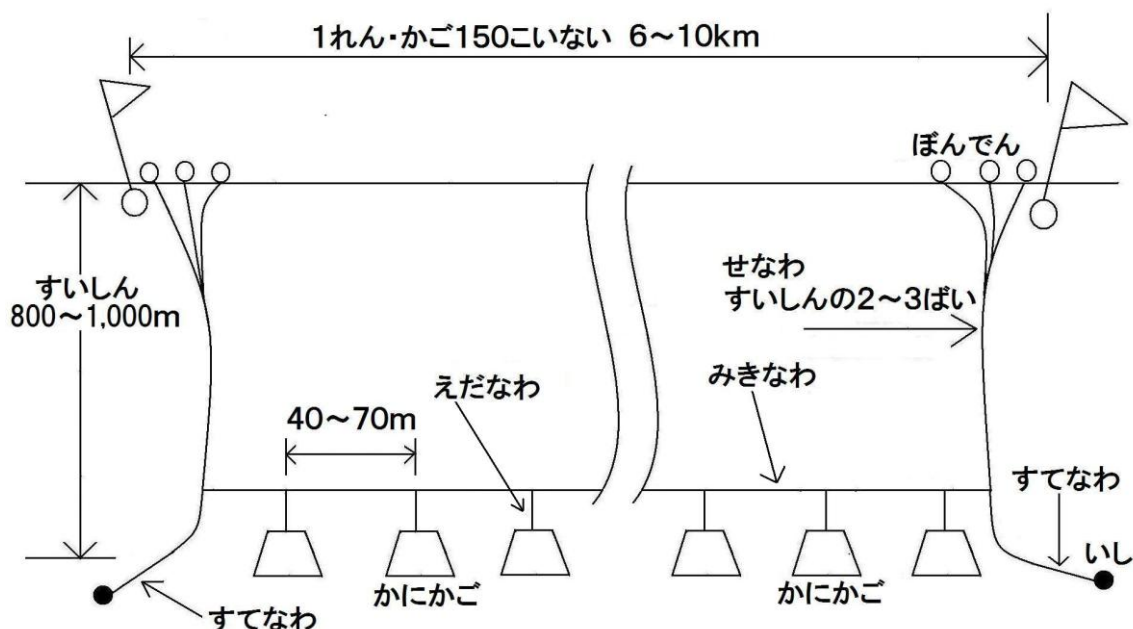
みきなわへの とりつけほうほうは、 ず4の とおりです。②いわいとの りょうほうの はしを すばいきを つかって ①みきなわに つけます。そのあと、⑩えだなわを とりはずしやすいうように ②いわいとへ むすびます。なお、ちいきによつては ①みきなわに ちよくせつ、えだなわを むすびつけます。(きほんてきには もやいむすびで むすびつけます。)



ず4 かにかごの ずと みきなわへの とりつけほうほう

(5) そうぎょうほうほう (りょうの しかた)

のりくみいは ふつう 8~10にんですが、ちいさい ふねは 6~7にんです。
かごを 入れたときの ぎょぐの ようすは ず5の とおりです。

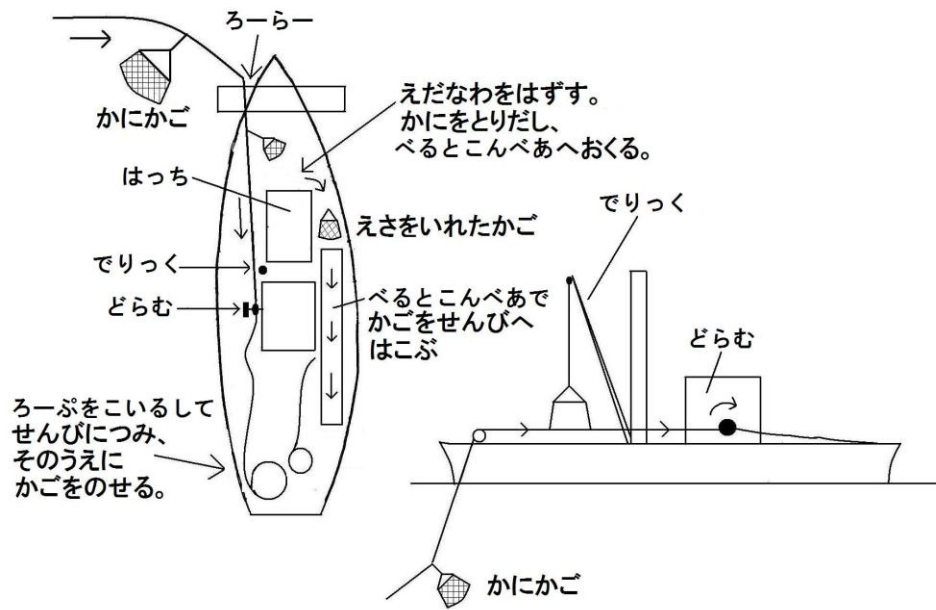


ず5 ろぐの せつちじょうきょう

a. なげかご (かごを 入れること) に ついて

- ★せんびさげんから、ぼんでんをつけたせなわをいれます。
- ★せなわのさきにみきなわ、すてなわ、おもりのいしをむすび、これらをなげいれます。
- ★えだなわのさきのえさを入れたかごあみをうみにいれます。
- ★えさはさば、しいら、そうだがつおなどをつかいます。
- ★あげかごのときには、かごあみのそこをろーぷでしばらないまませんびにつんでおき、なげかごのときにしばります。
- ★ぎょぐすうは3れんいらないです。
- ★なげかごのとき、あしをろーぷにとられないよう、じゅうぶんちゅういします。

b. あげかご (かごを あげること) に ついて (ず6)

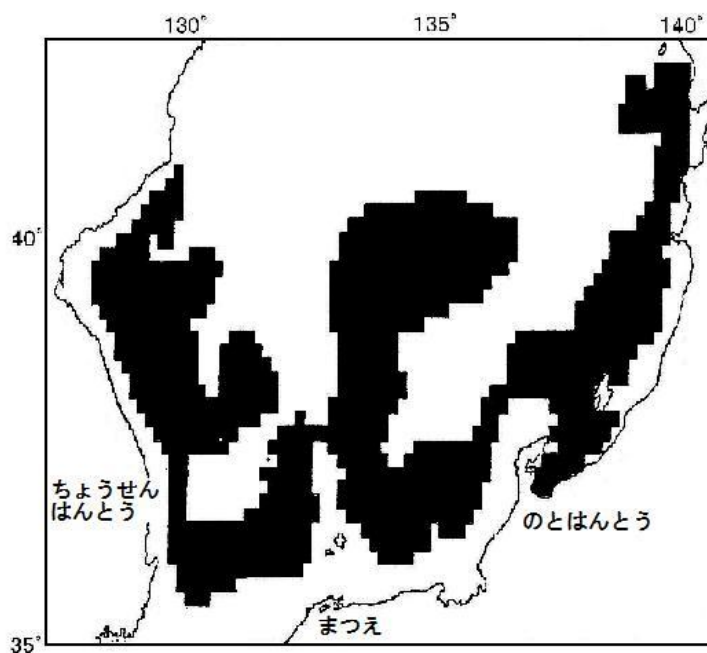


ず6 あげかごの ほうほう

- ★みきなわを さげんせんしゅの ろーらーへ とおし、 さげんちゅうおうにある どらむで、 かごを あげる げんまたはせんしゅに かぜを うけて まきます。
- ★かごが かいめん に きたら、 ふっくで かごを ひっかけ、 でりっくで つりあ げます。
- ★かにかご はいっていれば あみぞこの ろーぷを ほどき、 だい・ちゅう・しょうべ つに わけます。
- ★めすがにと 9cmみまんの おすがには うみに もどします。
- ★からに なった かごは あみぞこの ろーぷを むすばないまま、 えさを 入れて、 うげんがわの べるとこんべあで せんびに はこびます。
- ★まきあげられた みきなわは さげんがわで せんしゅから せんびに おくり、 つ ぎの なげかごに そなえ じゅんじょよく こいるします。そして、 かごの つ いた えだなわを みきなわに むすび、 そのかごを せんびに つみあげます。
- ★べにずわいがにかごぎょぎょうでは、 べにずわいがにのほかに、 のろげんげ、 ば い・つぶなどが とれます。
- ★1れんめの かごを あげおわると、 ぎょかくが よい ばあいは すぐに せんび から べつの 1れんを なげます。
- ★ぎょかくが わるいとき、 なげかごは ぎょじょうを かえて おこないます。
- ★3れんめの なげかごが おわると みずあげのため、 みなとに かえります。
- ★1れんのあげかご、 なげかごに 4～5じかんかかり、 ぎょじょうまでの おうふ くの こうかいじかんを くわえると、 1こうかい けい20～23じかんぐら いで す。りょうがわるく、 ほかの ぎょじょうを さがして そうぎょうする ばあいは さらに じかんが かかります。

(6) ぶんぶ、 せいたいとう

- ベにずわいがには にほんかい、 おほ一つくかい、 ちょうしいほくの たいへいよ
うの、 やく200~2700mの ふかさの ところに すんでいます。
- ベにずわいがにが おおく すんでいる ぎょじょうは ず7の とおりです。
- やどかり、 えびなどの こうかいくるい、ちいさい かいりいや さかななどを た
べます。
- 1ひきあたりの たまごの かずは へいきんすると 4~5まんつぶです。



ず7 ベにずわいがにぎょじょうず

(7) ベにずわいがにかごりょうを するときの きまり

- かごりょうを しても よい きかんは、 ちいきに よって きまって います。
- ぎょかくぶつは こうらの おおきさ(さいず)で、
だい：12cmいじょう、 ちゅう：10~12cmみまん、 しょう9cmいじよ
う~10cmみまんに わけられます。
- めすがにと こうはばが 9cmみまんの おすがには とっては いけません。
- ほかの しゅるいの かに(ずわいがに)なども とっては いけません。
- 800mより あさい ところでは そうぎょうきんしです
- あみめの おおきさは 15cmいじょうです。
- 1れんの かごは 150こいないです。

(8) そのた

- あたたかい ちいきに すむ かにの なかまには、 どくを もっている かにも
います。

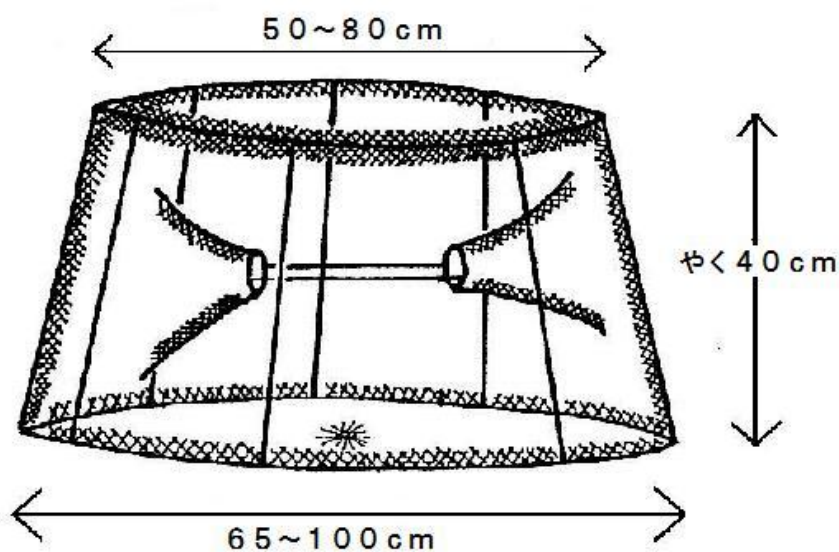
みなさんの ぼこくで かにに さわるときには あらかじめ しらべて
おきましょう。

5. えびかごぎょぎょう

- ・かごをつかって、いろいろなえびをとるぎょほうで、ほっこくあかえび、とやまえび、もろとげあかえびなどをとります。

(1) ぎょぐについて

- ・いっばんにず8にしめすような、よこにくちのあるかごがつかわれています。
- ・しようするかごのかずは、ちいきによってことなっています。
- ・えさはいかなご、ほっけなどです。
- ・かごのわくはてーぷなどでしゅういをていねいにまきます。

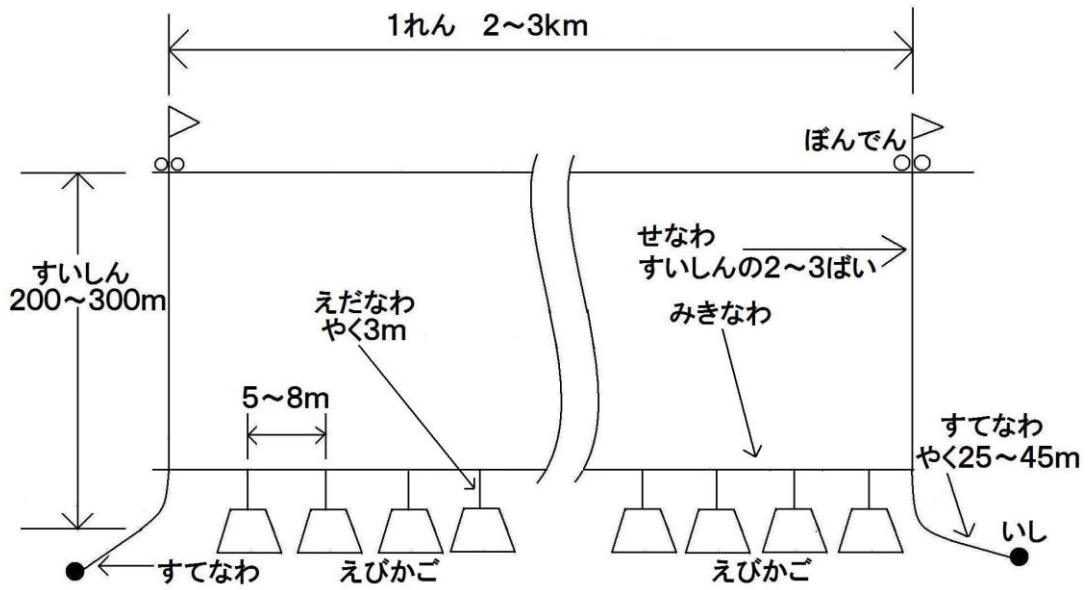


ず8 えびかごの けいじょう

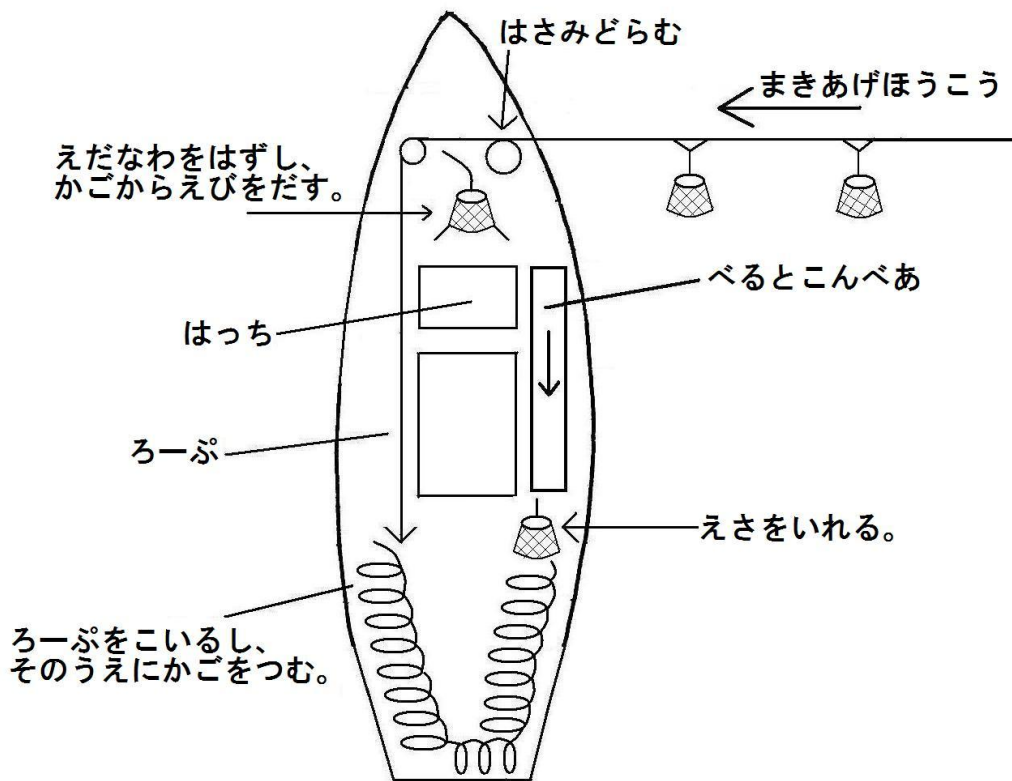
(2) そうぎょうほう

a. なげかごについて

- ★せんびから、ぼんでん(ひょうしき)、あば、せなわ(すいしんの2~3ばいのながさ)をいれます。
- ★せなわのいちばんはしに、みきなわ、すてなわ、おもりのいしをむすび、これらをいれます。
- ★ふねをはしらせながら、みきなわとかごあみをむすんだろーぷのさきのかごあみをうみにいれます。
- ★かごは、あげかごちゅうからえさをいれ、かごのうえのろーぷをむすびます。
- ★ず9は、えびかごをいれおわったようすです。



ず9 えびかごを 入れた ときの ず



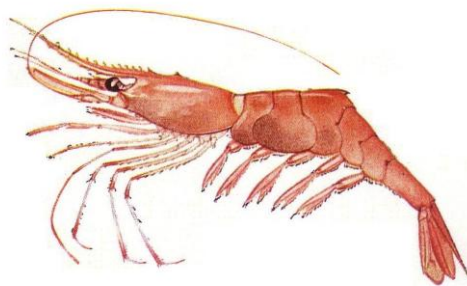
ず10 えびかごの あげかごほうほう

b. あげかごに ついて

- ★ず10の とおり、 うげんぜんぼうに ある はさみどらむで、 ぼんでん、 せなわのじゅんに まきあげます。
- ★おもりの いし、 みきなわが あがり、 えだなわと そのさきの かごが きたら えだなわごと みきなわから はずします。
- ★かごあみの うえの ろーぷを ほどき、 ぎょかくぶつを とりだして せんべつします。
- ★えびは かつぎょそうに いれ、 からに なった かごは べるとこんべあで せんびへ おくります。
- ★まきあげられた みきなわは、 さげんがわで せんしゅから せんびに おくり、 つぎの なげかごに そなえて じゅんじょよく こいるします。そして、 かごの ついた えだなわを みきなわに むすび、 そのかごを せんびに つみあげます。

(3) ほっこくあかえびの せいたいについて

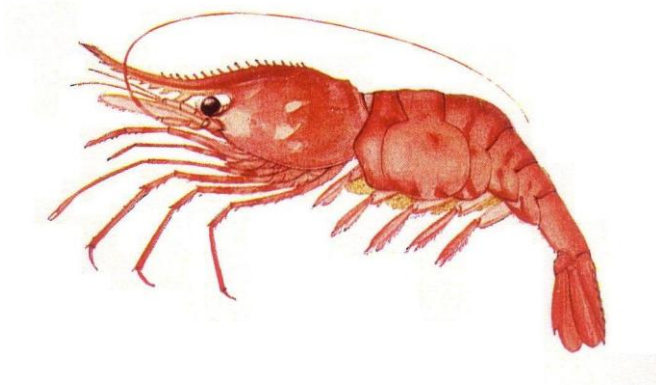
- ・おおきさは やく12cmで、 ぜんしんがあかく、 あまみがあるため「あまえび」、「なんばんえび」とも よばれます。
- ・にほんかい、 おほ一つくかい、 ベーりんぐかい、 きたたいへいように います。
- ・にほんかいでは すいしんやく200~950mの ところに すんでいます。
- ・にほんかいでの ぶんぷは おもに ず11の とおりですが、 とやまえび、 もろとげあかえびの ぶんぷも ほぼおなじです。
- ・こがたの かいるいや ぎよるいを たべています。
- ・いか、 たこ、 たら、 さめなどに たべられてしまいます。
- ・うまれたときは ぜんぶ おすですが、 せいちょうすると ぜんぶ めすに なります。
- ・4さいに になると さんらんし、 1ねんごに こどもが うまれます。
- ・さんらんは はるから なつに かけて おこないます。
- ・たまごの かずは 1びあたり へいきんやく2200つぶです。



ほっこくあかえび

(4) とやまえびの せいたいに ついて

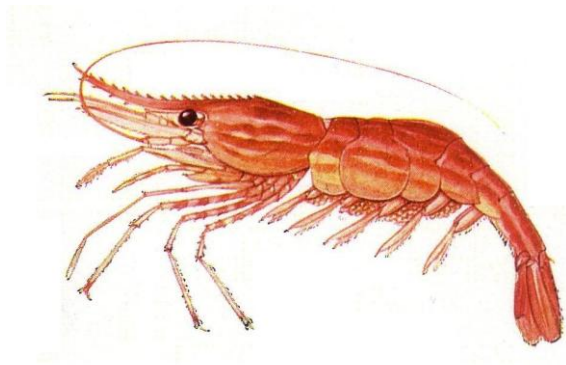
- ・からだに よこじまが あります。
- ・おおきさは やく17cmです。
- ・ぼたんえび(よこしまが ある)とも よばれています。
- ・にほんかいや ベーリングかいに います。
- ・にほんかいでは すいしんやく100~200mの ところに すんでいます。
- ・とやまけんで おおく とれます。
- ・うまれたときは ぜんぶ おすですが、 せいちょうすると せんぶ めすに なります。



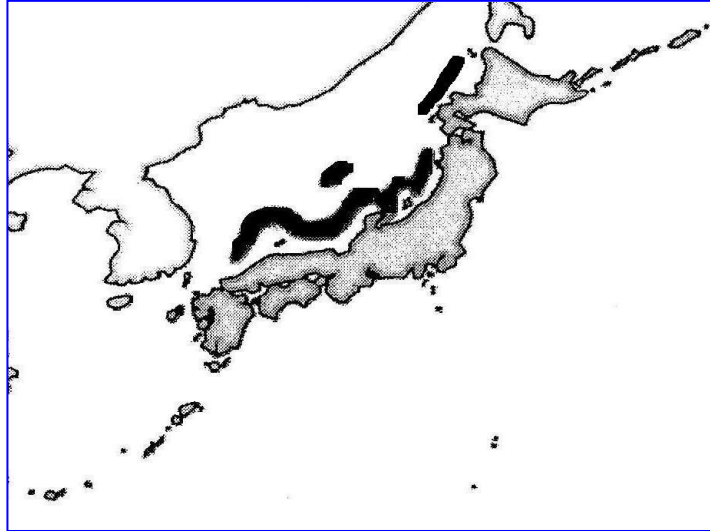
とやまえび

(5) もろとげあかえびの せいたいに ついて

- ・おおきさは やく15cmです。
- ・しまえび(たてじまが ある)とも よばれて います。
- ・しろ(びんく)と あかの たてじまもようです。
- ・にほんかい、 たいへいよう、 ほっかいどうなどに います。
- ・すいしんやく200~400mの ところに すんでいます。
- ・うまれたときは ぜんぶ おすですが、 せいちょうすると せんぶ めすに なります。



もろとげあかえび



ず11 ほっこくあかえび、 とやまえび、 もろとげあかえびの ぶんぷ

(6) えびかごりょうを おこなう ときの きまり

- ・えびかごりょうを できる きかんは きまっています。
- ・みなとに かえってきたら、 せいし、 だいしょう、 こもちと こもちでない えびについて などを せんべつします。

6. そのた

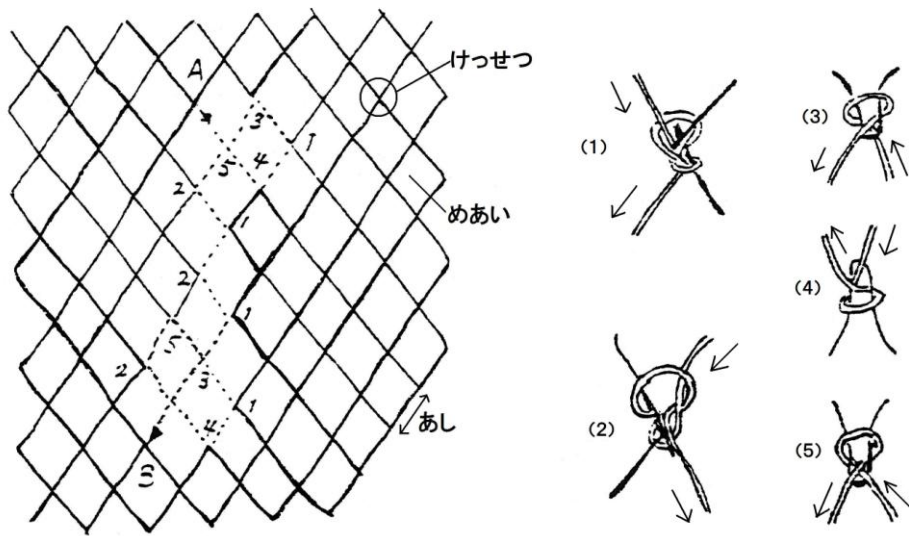
かごぎょぎょうでは、 かごあみが やぶれたばあい、 あみいとで ぬって かごあみを なおします。

あみちの やぶれからの ようすに よって ほんしゅうぜんと わたりしゅうぜんが あります。

(1) ほんしゅうぜん (ず12)

あみちと おなじ ふとさの いとをつかい、 おなじ けっせつ (あみいととあみいとのおおきさ) および めあい (あみちのおおきさ) に しながら しゅうりします。

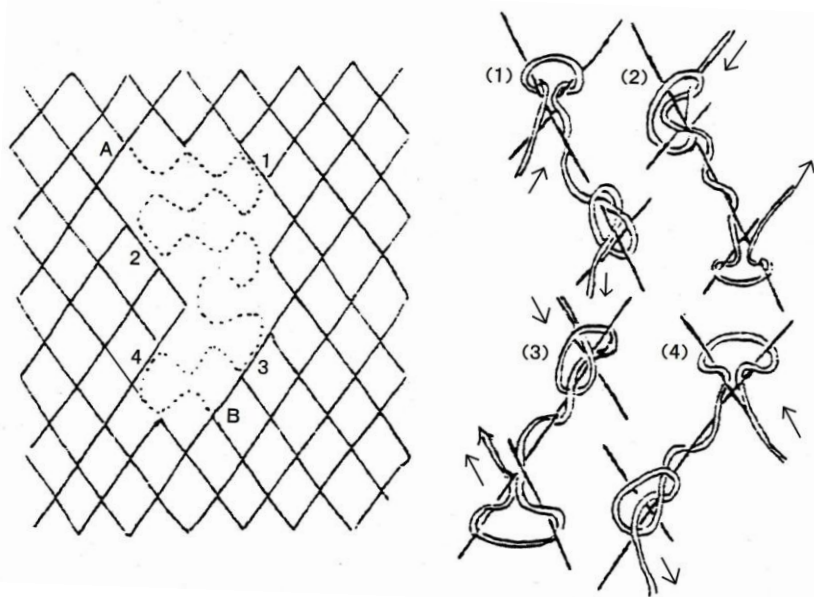
ぬいめは めだちませんが、 しゅうりするのに じかんが かかります



ず12 ほんしゅうぜんと あばりの はこびかた

(2) わたりしゅうぜん (ず13)

あみが やぶれた ところの まわりを せいりすることなく しゅうりします。
ぬいめは めだちますが、 しゅうりに あまり じかんが かかりません。



ず13 わたりしゅうぜんと あばりの はこびかた

(3) そのたの しゅうぜん

そうぎょうちゅうに あみが やぶれたばあいに おこなう おうきゅうしゅうり
「おきしゅうぜん」や、 やぶれた あみを ぶぶんてきに とりかえる 「ぼっち
あてしゅうり」などが あります。